200　学校　　旧閑谷学校　講堂　　一棟　　江戸時代（1701年）

正面七間　側面六間　一重　入母屋造　本瓦葺

校門（重文）

講堂内部

閑谷学校は、岡山藩主池田光政が家臣に対する文治政策のため創設、次の綱政の代に完備された。中心となる講堂は、正面三間、側面二間の身舎の周囲に広い庇をめぐらし、その外に吹き放しの広い縁を設け、床は身舎、庇とも拭き板敷とし、境に無目敷居を入れる。庇の外周は、各面とも中央だけ扉で、他は大きな花頭窓を並べる。屋根は錣葺き（しころぶき）で二段に葺くが、全体の規模が大きく妻飾りも塗りこめるので、城郭内の館のように堂々とした外観となっている。

講堂を中心にして、孔子を祀る聖廟、藩主を祀る閑谷神社、文庫、学寮などの建築群が、特異な石塀に取囲まれて建っている。近世における学校教育を知る上で、貴重な建築群である。

岡山県備前市閑谷 740　0869（67）1436　JR山陽本線吉永駅下車タクシー約 10 分

観覧　9:00～17:00